

校報 海士

校報 「海士」第四一三号
発行 令和二年 六月三〇日
編集 海士町立海士小学校

健康教育「手洗いの大切さ」

二月から猛威を振るっている新型コロナウイルス。現在は少し落ち着いており、生活レベルでの自粛も解除されてきています。しかし、完全に元の生活に戻ることは難しく、新しい生活様式を実践していくことが不可欠となります。合わせて正しい知識と予防方法を身に付ける必要があります。そこで、町の保健師さんに依頼をして学習の場を設定していただきました。

一・二年生は「てあらめいじんになろう！」という題材で「新型コロナウイルス感染症の予防に、てあらめいじんというところがわかる。正しい手の洗い方を知り、今後の生活に生かしていこうとする意欲を持つことができる。」ことをねらいとして学習を設定しました。三・六年生は「新型コロナウイルス感染症の正しい知識と正しい予防法を知ろう」という題材で、「新型コロナウイルス感染症について正しい知識を身につける。正しい手の洗い方を知り、実生活に生かしていこう」という意識を持つことができる。「ことをねらいとして学習を行いました。保健師の木山さんから説明していただいたり、実験をしたりしながら手洗いの大切さについて理解を深めることができました」

特にとどの学年でも実施した手の洗い残しを調べる実験では、ブラックライトを活用し、手のどこに洗い残しがあるのかが一目

瞭然となり、洗い残しが意外と多くあることを実感することができました。その後は正しい手の洗い方を教えてもらい、実際に正しい方法で洗う活動を行いました。三年生以上はこの活動に加えて、コロナウイルスについての話を聞き、正しい知識を身に付けることができました。今後は学んだことがしっかりと実践できるようにしていきたいです。



人権の花贈呈式

「優しさと思いやりの心をもって花の栽培をがんばってください。」というメッセージと花の苗を人権擁護委員の宇野さんからいただき、今年度の人権の花贈呈式が行われました。贈呈式の後には民生委員さんの自己紹介が行われ、花の苗植え活動に移りました。役場健康福祉課の勇木さん、人権擁護委員の濱見さんと宇野さん、民生委員の皆さんにも縦割り班の中に入っていた、一緒に花の苗植えまで行いました。五月にチューリップの球根抜きが終わり、花壇もこの日のためにじつくりと休憩し、花に渡す養分を蓄えて、まだかまだかと待ちわびていたかのように感じられました。事前に五・六年生が考えていたレイアウトのように見事に花を咲かせるよう思いやりの心をもって育てていきたいと思っております。お忙しい中、一緒に活動してくださいませ。皆様、ありがとうございました。



ストレッチ講習会

本校の三年生以上は、バスケット練習や陸上練習など課外活動を通して、多様な種目に挑戦します。その種目によっても使う体の部位が異なってきます。活動の前後には、必ずストレッチを取り入れています。が、なかなか意識をしながら行っていないかもしれません。どうしてストレッチをするんだらう？ どんなことに気を付けてすればいいんだらう？ そんな疑問に答えるため保士高連携養護教諭部会では、毎年島根医大の門脇先生に訪問していただき、ストレッチを行う必要性やその方法についての講習会を実施しています。今年も、ストレッチをすることがケガの予防につながるというお話を聞いた後、主に下肢の柔軟に重きを置いて実施されました。実際に、講習会の前後では、自分の体の柔らかさに変



児童朝会

六月の自粛解除を受け、校内でも全校で集まる集会活動を友だちとの間隔に気を付けることなどの対策を取りながら実施することになりました。六月二日に行われた今年度初の全校朝会を皮切りに児童会が主催する児童朝会も企画されるようになりまし。これまでに生活委員会があいさつについて呼び掛けたり、図書委員会が本の読み聞かせとクイズを行ったりしています。また、児童朝会は学年の発表の場としても設定されており、今月は、二年生が国語で学習した音読を発表しました。



化が見られたことを体感することができていました。

ウォークラリー

例年は秋に行っているウォークラリーを春の遠足の代わりに実施しました。コロナウイルス拡大防止のため島外に出る計画の遠足は自粛すること、また学校再開が一月延びたことで縦割り班活動の充実を図ることを考慮して変更しました。

このウォークラリーは「歩くこと」によって、より地域を知り、観察力や判断力を養う。集団の中で協調性を育み、仲間意識や協力を高める。自然に親しみながら楽しく歩き、体力の増強を図る。ことをねらいとしており、海士小学校区内に設置されたポイントを縦割り班で回ります。このねらいを達成できるようこれまで東区が多かったコースを他の地区も回れるコースに変更したり、問題の中に自然に親しむ問題を設定したり、班で俳句を作る活動を取り入れたりと改善を図りました。地区を回る子ども達は、地図を手掛かりに各ポイントを回りました。コースが広がったことや普段歩かない地区を回ったことなどで道に迷ったり時間内に全ポイントを回れなかったりする班もありましたが、そういう体験ができたこともこのウォークラリーならではのものだと感じます。今後は各地区でのコースを検討し、海士小学校の児童は六年間の間に必ず四地区を回るような計画も模索していきたいです。

順位と得点

- 一位 黄組 三二四点
- 二位 赤組 二五一点
- 三位 青組 一五二点



ウォークラリー俳句結果

【低学年の部】

流れ雲 いつしよに歩いて 楽しいな (赤二班)

【中学年の部】

山の中 ひたすら歩いた ウォークラリー (黄二班)

【高学年の部】

あおおと 梅がなるなる ああ夏だ (赤二班)



健康生活チャレンジ週間の取組

六月二九日〜七月三日に、今年度一回目の「健康生活チャレンジ週間」を実施しています。この取組は、子どもたちの基本的な生活習慣を整え、学ぶための基礎を作ることをねらいとしています。

今年度は、特に「睡眠」に着目してチャレンジシートの書き方を変更しました。安定した睡眠時間と質の良い睡眠を確保するためには、学校から帰ってからの過ごし方に工夫が必要です。ご家族で声をかけ合ったり、一緒に取り組んだりするのも良いかもしれません。

長い休校が明け一カ月が過ぎ、ある程度の生活習慣は取り戻しつつあると思います。が、今一度普段の生活習慣について話題にしていたらありがたいです。今後ともご理解と協力をお願いいたします。
(文責：保一高養護教諭部会)

ふるさと教育

「ふるさと教育」とは、『地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業といった教育資源(ひと・もの・こと)を活かし、学校・家庭・地域が一体となって、ふるさとに誇りを持ち心豊かでたくましい子どもを育てることを目的としていて、自分たちの地域にある課題に正対することで、地域の一員として地域に貢献したり、地域を大切にしたりする心を培っていく。』としています。本校でも、ふるさとの自然、歴史や文化、地域の人々とふれあう活動を通して、ふるさとのよさを発見し、そのよさを大切にしようとする態度を育てることを目標として取り組んでいます。

六月の緊急事態宣言解除を受けて校外活動の自粛も解除しました。各学年がこれまで我慢していた鬱憤を晴らすかのように地域へ出かけていきました。地域に触れ、地域のよさを知り、ふるさとのよさを自分の言葉で伝えることができるよう取り組んでいきたいと考えています。今後も校外学習の計画を立てておりますので、引き続きご理解ご協力をよろしくお願いします。

- 一年生：公園遊びで宇受賀(生活科)
- 二年生：町探検で東(生活科)
- 三年生：地域めぐりで豊田、北分、宇受賀(社会科)
- 四年生：水の学習で金光寺(社会科)

- 三・四年生：海の学習で保々見、豊田、種苗センター(総合)
- 五・六年生：田植え(総合)
- さくらの家と交流(総合)
- 五・六年二組：海岸線の学習で北分、豊田、御波、保々見、金光寺、高石(生活単元)



クラブ活動

本校の特色ある教育活動の一つとして、前期のクラブ活動では神楽クラブ、民謡クラブを行っています。これは地域芸能に触れ、ふるさとへの理解と愛着を高めることを目的としています。神楽は東区の道中神楽を教えていただいております。東区から大野勇さん、細川謙二さん、福島菊之進さん、波多成夫さん、高橋弘丞さん、本多正信さんに、民謡クラブも東区から油井朝子さん、中川英美さんにお世話なっています。今年度も町産業文化祭や学芸会での発表の場を計画しています。

7・8月の行事予定

- 1日(水) 体力テスト
- 2日(木) 租税教室 5・6年生
交通安全教室
- 6日(月) SC(AM)
- 7日(火)～9日(木) 個人面談
- 10日(金) クラブ活動
- 23日(木) 出校日
- 24日(金) 出校日 終業式
- 8月24日(月) 2学期始業式
- 29日(土) PTA 環境整備作業

※ コロナウイルスの状況によっては変更することがあります。

